



TITLE:

五味君の新星発見について

AUTHOR(S):

CITATION:

五味君の新星発見について. 天界 1936, 17(187): 1-3

ISSUE DATE:

1936-10-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167363>

RIGHT:

619561

昭和13. 1. 22



第187號 (第 17 卷)

(昭和11年) 11 月 號

五味君の新星發見について

去る9月中頃、米國ハバード大學天文臺のカンベル氏から自分へあて、
下の如き親切な手紙が到着した。

HARVARD COLLEGE OBSERVATORY
CAMBRIDGE, MASSACHUSETTS.

August 12, 1936.

Dr. Issei Yamamoto,
Kwasan Astronomical Observatory,
Kyoto, Japan.

My dear Dr. Yamamoto:

I would be greatly obliged to you if you will do me the favor of supplying me with some authoritative information regarding the discovery of Nova Lacertae by Mr. Gomi, in Japan. It is not that I am not convinced of the fact that he appears to be the first one to have found the Nova but I would like to have some first-hand information from such a reliable source as yourself as to the circumstances regarding the discovery.

As you probably know, the Association will, without doubt, award the David B. Pickering Gold Medal to the original discoverer of this Nova as it did in the case of Nova Herculis. So as not to have any question arise as to who the recipient of the medal should be, we should have at hand information in this regard. If you will let me have this information at your earliest convenience, it would be a great help to us in deciding as to whom the Medal should be given.

I rather looked forward to seeing you at the meeting of the I. A. U. in Paris, in 1935, but apparently you were unable to make this trip. I trust that you and yours are enjoying good health and that the astronomical work under your charge is going along as well as you can expect.

With kindest personal regards I am

Very sincerely yours,

(Signed) Leon Campbell.

Recorder, A. A. V. S. O.

〔譯〕

米國マサチューセツ州ケンブリチ市

ハーヴァード大學天文臺

1936年8月12日

日本、京都、花山天文臺

山本一清博士

拜啓、

貴國の五味氏がトカゲ座新星を発見されし事に關し確實なる消息を私に御送り下さるやう御願ひ申上ます。但し、之は同氏が最初の発見者たることを疑ふ意味では之れなく、只、むしろ此の発見事實に關して貴下の如き信頼すべき方より確實なる情報を得たいからであります。

多分御承知の如く本會は、ヘルクレス新星の場合と同様、今回の新星の最初の発見者には D. B. ビケリング記念金牌を贈呈する筈であります。従つて、賞牌の受領者問題に疑點の起らざるやうに情報を必要と致します。貴下が成るべく早く之れに關する御報告を御送り下さるならば賞牌受領者決定のため大助かりとなります。

昨年パリ市に於ける國際天文同盟總會に於いて私は貴君に御會ひする希望でありましたが、貴君は旅行に出られなかつたらしくありました。願くは貴君及御同僚御一同御壯健に、御研究が御豫期通り進まんことを。敬具。

米國變星協會書記 レオン・カンベル (署名)

そこで、自分は五味君の居住する長野縣上諏訪町の最も信頼する三澤勝衛氏へ直ちに手紙をかき、種々発見事情の調査報告を御願ひしたところ、三澤氏は其の教へ子のためいつも變らぬ御親切に行き届いた御盡力をして下さつたらしく、程經て、神田茂氏から下の如き一文を得て、私の方へ送つて下さつた。

五味君の新星発見に關する事項

五味君は本年6月日食觀測のため北海道の北部幌延に出張中、日食の前夜(6月18日夜)村民に天體に關する知識を指導中、午後8時40分(11時40分 U. T.)頃セフェウス座 δ 星附近に新星を認め、同夜東京天文臺宛に電報で通知。但し電報が到着したのは翌19日午前6時頃であつたので、同夜確認するまで公表を保留中、19日午後6時頃新星発見の外電が到着した。五味君の発見は同君の歸京後詳細を聴取の上、6月25日東京天文臺福見氏より公式にコペンハーゲン天文発見電報中央局へ手紙で通知された。その記事は U. A. I. Circ. 603 (7月14日附)にて印刷され、更に U. A. I. Circ. 608 (7月28日附)には新星の獨立発見者列記中、最初の発見者は五味君なる事が承認されて居る。

尙、五味君の発見と北海道に於ける五味・古畑・黒岩3名の新星の光度觀測は米國ハーヴァード及びキールへ送られ、A. N. 6216? に印刷されてゐる。

又、黒岩君が通常寫眞機にて撮影の発見當夜の新星附近の寫眞もある。

神 田

之れと共に、三澤氏は下の如き興味深き書面を添えられた。

山 本 先 生

拜啓 2, 3日留守をしましたので延引御申譯ございません。昨夜神田さんから別紙のやうな記事が、山本先生へ上げるやうにと、とゞいて居りました。御轉送申し上げます。よろしく御願ひします。五味君に就いては五味君に於ける限りに於ては、五味君が北海道で、あそこの人たちに世話になつたその御禮にもと思ひ、流星の觀測や變光星の觀測を教へて上げやうとしたのが、それが動機である発見があつたといふので、今更のやうに五味君自身は“人には親切にするものだをつくづく感心した”と申して居ります。私は五味君に對し、“それは貴君にとつては變光星発見以上の発見だ”と申した事です。

三 澤 勝 衛

實に之れは、近ごろ愉快なニュースであると言つて好かるう。三澤氏の言の如く、星の発見は單なる勉強によつて獲られるけれど、人生の尊い眞理の発見は平常の誠實なる心構へが齎すものであつて、實に學術の研究者も其の研究生活を通じて貴重なる人生勉強の機會を恵まれるものであることを、つくづく考へさせられる!! (山本)

“ ニ ュ ー ス 2 件 ”

★近く新建設さるゝ生駒山天文臺に据付けさるゝ鏡徑61糎反射望遠鏡が、鏡枠部分品共、去10月10日花山天文臺に到着し、假組立を終つた。同機は珍しいカスグラン式で、 $f:6$ 、寫眞撮影裝置がいろいろ附屬してゐる。今後一應試験され、生駒山頂で日本一と銘打つて披露さるゝ日も近いことであらう。

★精密星圖の製作では、今では推しも推されもせぬ草場修氏は、最近、本會の依頼に依り、ボン星圖の描圖の餘暇に、新恒星圖を製作中で、その作圖のスピーデイなことで、見る者を驚歎せしめてゐるが、近く、發刊されて諸氏の期待に添ふであらう。